

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力で書き込んで下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年1月25日
派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	名取市	代表者名	山田 司郎
担当者部署	企画部	連絡先電話番号	022-724-7145
担当者役職	主査	担当者氏名	小島 む亜
住所	981-1292 宮城県名取市増田字柳田80		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	伊藤 文徳
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	「EBPMは何か」ということから、講師自身の市役所での地図情報を活用したEBPMの取組だけでなく、他市町村の異なる手法でのEBPMの事例も用いて分かりやすく説明いただき、理解を深めることができました。また、実践としてエビデンスとして使えるサイトの紹介までしていただき、職員の関心がより高まった。
アドバイザーへの要望事項	特になし。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年1月18日	11時00分	16時00分	70	230
3-2. 派遣場所	会場名	名取市役所		最寄駅	名取駅
	所在地	名取市増田字柳田80		最寄駅からの交通手段	徒歩9分
	派遣形態	講演(実地)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	29人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	EBPMがいかなるものか、実践の中で具体的にはどのように政策立案をしていけばいいかが職員に浸透していない。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	長期総合計画の主要施策において「信頼される行政経営を行うため、政策目的を明確化させ、効果が上がる行政手段について、証拠に基づいて明確化するための取り組みである、EBPMを推進する」としているが、浸透していないため、職員の理解と意欲の向上を図るため、職員研修会を開催する。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	「EBPMの実践～地図情報を活用した行政課題解決～」と題して2時間の講義を受講した。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	EBPMに対する職員の理解と意欲の向上がなされた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越した内容(具体的にご記入ください)	全庁的な理解を求めてEBPMをテーマに全職員を対象に職員研修会を開催したが、新型コロナウイルスの感染防止により参加できる職員を制限したため、30人弱の受講にとどまった。今後受講した職員から波及し、エビデンスに基づいた政策立案が全庁的に浸透することを期待する。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別添のとおり報告書の写し(PDF)を送付	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	EBPMによる政策立案を職員が業務の中で行えるようになり、全庁的に浸透すること。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

